

# 記載例（記入に際しての注意事項）

別記様式第1号

鳥取県特別栽培農産物生産登録申請書

年 月 日

鳥取県知事 ○○ ○○ 様

書類を提出する日

※別記様式第2号の受領確認日以降

申請者 住所  
(団体又は法人の代表者等の所在地)  
氏名  
(団体又は法人の名称及び代表者名)  
電話番号

個人申請の場合は個人名を記載。

印

押印すること。自署の場合は押印省略可。

鳥取県特別栽培農産物認証要綱第6条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

ほ場を特定できる番地記載があれば「生産ほ場位置図」は添付不要。

〔添付資料〕

- 1 別記様式第1号の2（米の場合は別記様式第1号の3）  
生産ほ場の番地が正確に記載されず、申請ほ場を特定することができない場合は、生産ほ場の番号を記載した「生産ほ場位置図」を添付すること
- 2 栽培計画（別記様式第2号）
- 3 確認責任者のプロフィール（別記様式第9号）
- 4 使用予定資材について  
(1) 肥料等資材の詳細が分かるもの（化学窒素成分割合がわかる成分表が記載されたもの）  
(2) 牛糞堆肥、自家製肥料等については、原材料、製造工程が分かるもの

(注) 自署の場合は押印省略してもよい。

種子消毒の有無が確認できる資料も添付。  
※種子消毒済みの種子しか入手できない場合は、そのことが確認できる聞き取り結果等の資料も添付。

過去3年以内の日付（証明日）で提出実績がある資材については、肥料等資材の化学窒素成分割合が変更されていないことを確認した聞き取り結果の添付で可。

別記様式第1号の2 (対象作物:米以外の作物)

特別栽培農産物申請総括表

1 栽培責任者

氏名	
住所	
電話番号	

生産者は栽培責任者を兼ねることができ。

栽培計画書(別記様式第2号)と整合性をとる。

栽培責任者と兼ねることができない。

2 確認責任者

氏名	
住所	
電話番号	

当該地域の農業に精通し、技術的な指導が可能な者。  
農協の担当者なら氏名の後に(農協〇〇営農センター指導員)等と記載。

“〇割”と記入する。  
(例 57%→5割)

3 申請内訳表

ほ場番号	生産者名	住所	電話番号	ほ場所在地 (番地まで記載)	面積 (a)	農作物名	削減割合等		備考
							化学肥料 (窒素分量)	農薬	
									不使用※ 1
									削減対象 農薬不使用 ※2
									〇割※3
							合計面積を記入する。		
							(面積合計:		

※1 「農薬を全く使用しない場合」は、「不使用」と記載すること  
 ※2 「種子消毒した種子しか購入できず、栽培期間中に削減対象農薬を使用しない場合」  
 又は、「有機」JAS規格で使用可能な農薬のみを使用する場合は、「削減対象農薬  
 不使用」あるいは「節減不使用」と記載すること  
 ※3 「削減対象農薬を使用する場合は、「削減割合」を記載すること

収穫終了予定日から起算して、15日以内の日付を記入する。  
 ※複数の品目について申請し、収穫終了が長期にわたる場合は、〇年〇月〇日～〇年〇月〇日と記載し、余白に各品目ごとの提出予定日を記載する。

- 4 栽培管理記録等提出予定日  
 ※収穫時期の異なる複数の農作物が有る場合には、それぞれについて記載する。
- 5 とりネットの農林水産部ホームページ等での登録内容の公表について(希望しません)  
 ※登録内容:氏名(団体名)、住所地、認証を受けた日、認証作物、農薬(削減対象農薬)削減割合、化学肥料(窒素成分)の公表についてどこ  
 らかに〇印をする。



別記様式第2号（記入に際しての注意事項）

記名押印。自署の場合は押印省略可。

ほ場確認は栽培開始前、管理状況確認は栽培期間中（ほ場に植付後）、収穫状況確認は収穫期間中とする。

記名押印。自署の場合は押印省略可。

生産者 住所 氏名 農業従事年数	栽培責任者 住所 氏名 電話	平成 年 月 日	年 月 日	栽培計画 確認責任者 住所 氏名 電話	現地確認予定欄 ほ場確認 管理状況確認 収穫状況確認	受領確認欄 年月日 確認責任者名 印
---------------------------	-------------------------	-------------------	-------------	---------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------

団体の場合は、団体結成○年目と記載する。

3ヶ月以上は2回、6ヶ月以上は3回の確認が必要。

栽培計画等を確認した日を記入する。複数の確認者がある場合は“（確認者他○名）”と追記し、別記様式第9号の確認責任者プロフィールに詳細を記載する。

作目、品種ごとに作成する。

総括表に所在地が記載してあれば、ほ場番号のみでも可。

資材名称はフルネームで正確に記載する。

作業と施肥・土づくり肥料、農薬の資材等が対応するよう記載すること。

種子消毒はどこで消毒したのかも記載する。  
（種苗会社等での種子消毒の場合は成分名で可）

上から時系列順に記載する。各作業ごとに行をそろえる。

収穫量について、10a当たり、総量どちらでも可。

削減割合は5割以上であること。（端数切り捨て）

削減割合は5割以上であること。（端数切り捨て）

薬剤の使用希釈倍率を明記すること。

農薬の名称は正確に記載すること。  
農薬登録の有無と使用回数を確認する。  
回数回使用するものは、使用回数がかかるよう記入する。

前年実績 栽培面積 収穫量	作業計画 作業名 年月日	使用予定資材 名称 化学窒素 成分量(kg) 施肥・土づくり等 使用量 (10a当たり)	成分数合計 9 削減割合 5割 (20-9)/20
栽培面積 合計 (a) 20	化学窒素成分量合計 2.82 (kg) 削減割合 5割 (6.42-2.82)/6.42		

(注1) 前年実績については、作物ごとに栽培面積(a)と収穫量(kg)を記載する。

(注2) 同一のほ場に複数の作物を作付けする。

(注3) 自署の場合は押印を省略してもよい。

削減割合 ○割

（慣行基準の化学窒素成分量）／慣行基準の化学窒素成分量 と記載。農薬成分数も同様。  
例：化学窒素成分量 (6.42-2.82)/6.42、農薬成分数 (20-9)/20

別記様式第2号

平成〇〇年栽培計画

種子消毒に関する記載方法

生産者 住所氏名 農業従事年数	栽培責任者 住所氏名 電話	確認責任者 住所氏名 電話	現地確認予定欄 年 月 日 年 月 日 年 月 日	受領確認欄 年 月 日 確認責任者名 (印)
ほ場番号	作物名(品種)	栽培面積(a)	ほ場確認 管理状況確認 収穫状況確認	

ほ場番号	作物名(品種)	栽培面積(a)	作業計画 作業名 年月日	施肥・土づくり等		使用量 (10a当たり)	病害虫・雑草防除 成分数	農薬登録番号
				名称	化学成分量(kg)			
パターン1	種子消毒した種子しか購入できない場合は、その種子に使用された農薬成分名を記載し、成分数を「0」と記載する。また、使用量の欄に「種子消毒」と記載する。 削減割合について、総成分数を引いた数を分母とする。 ※種子消毒済みの種子しか入手できないことを確認できる資料を添付する。		チウラム メタラキシル キャブタン		0 0 0	0 0 0	種子消毒 種子消毒 種子消毒	種子消毒と記載
パターン2	種子消毒した種子、種子消毒していない種子の両方が購入可能であって、種子消毒した種子を購入した場合、農薬成分名を記載し、成分数を記載する。 また、使用量の欄に「種子消毒」と記載する。		チウラム メタラキシル キャブタン		1 1 1	1 1 1	種子消毒 種子消毒 種子消毒	種子消毒と記載
パターン3	種子消毒を生産者自身が実施する場合は、農薬の名称を記載し、成分数を記載する。 また、使用量の欄に希釈倍数又は使用量を記載し、「(種子消毒)」と記載する。 農薬登録番号も記載すること。		ホーンサイト・水和剤80		1	1	種子重量の 0.2~0.4% (種子消毒)	希釈倍数又は使用量を記載し、(種子消毒)と記載
パターン4	温湯種子消毒を行った場合は、「温湯消毒」と記載し、処理温度、処理時間を記載する。 ※温湯消毒済みの種子を購入した場合、処理先の名称を記載する。		温湯消毒 (〇℃、〇分) 温湯消毒 (JAいばば)		0	0	種子消毒	種子消毒と記載
パターン5	種子消毒を行わなかった場合は、使用量の欄に「種子消毒なし」と記載する。		「種子消毒なし」と記載				種子消毒なし	種子消毒なし
栽培面積合計 (a)				削減割合	削減割合	削減割合	削減割合	削減割合

(注1) 前年実績については、作物ごとに栽培面積(a)と収穫量(kg)を記載する。  
(注2) 同一のほ場に複数の作物を作付ける場合には、ほ場ごとにまとめて記載することができるが、管理・収穫時期が異なる場合には、それぞれについて記載する。  
(注3) 自署の場合は押印を省略してもよい。

記名押印。自署の場合は押印省略可。

ほ場確認は栽培開始前、管理状況確認は栽培期間中（ほ場に植付後）、収穫状況確認は収穫期間中とする。

記名押印。自署の場合は押印省略可。

生産者 住所 鳥取市〇〇〇〇〇	栽培責任者 住所 鳥取市〇〇〇〇〇	平成〇年栽培計画 確認責任者 住所 鳥取市〇〇〇〇〇	現地確認予定欄 〇〇年 4月 中旬 〇〇年 6月 中旬 〇〇年 7月 下旬 〇〇年 9月 中旬	受領確認欄 平成〇〇年〇〇月〇〇日 確認責任者 △△△△印
氏名 〇〇 〇〇 農業従事年数〇年	氏名 〇〇 〇〇 電話 0857-△△-△△△△	氏名 △△ △△ 電話 0857-〇〇-〇〇〇〇	ほ場確認 管理状況確認 (栽培期間中) 収穫状況確認 (収穫期間)	

団体の場合は、団体結成〇年目と記載する。

3ヶ月以上は2回、6ヶ月以上は3回の確認が必要。

栽培計画等を確認した日を記入する。複数の確認者がいる場合は“（確認者他〇名）”と追記し、別記様式第9号の確認責任者プロフィールに詳細を記載する。

ほ場番号	所在地	作物名 (品種)	栽培面積(a)	作業計画		使用予定資材			名称	録番号		
				作業名	年月日	名称	化学成分量(kg)	施肥・土づくり等			使用量 (10a当たり)	
1	鳥取市△△△△	水稻 (コシヒカリ)	20	種子消毒 (JA育苗苗使用) 改良材散布	H〇〇 3/中旬	〇〇〇〇〇 □□□□□	0kg 0kg	20kg/10a 60kg/10a	温湯消毒 (JA〇〇)	種子消毒 (10a当たり)	12345	
		育苗		荒おこし 元肥散布	4/中旬 ~5/中旬	△△△△△ (又は▽▽▽▽ ▽)	0.02kg (0.02kg)	窒素 1.1g/箱 × 18箱	××××箱粒剤 (播種時同時処理) ◎◎◎◎水和剤	2 1	50g/箱 × 18箱 500倍 0.5L/箱	13456
		代かき 田植		除草剤散布 除草剤散布	5/上旬 5/中旬	××××× (又は◎◎◎◎ ◎)	2.8kg (2.6kg) (2.6kg)	20kg/10a 40kg/10a 20kg/10a	△△△△粒剤 □□□□粒剤	3 1	1kg 1kg	14567 15678
		前年実績 栽培面積 20a 収穫量 820kg		穂肥散布 (1回 日) 穂肥散布 (2回 日) 農薬散布 農薬散布 収穫	6/上旬 7/中旬 7/下旬 8/中旬 9/中旬	▲▲▲▲▲ (又は■ ■) ●●●●●	0kg (0kg) 0kg	20kg/10a 20kg/10a 20kg/10a				

資材名称はフルネームで正確に記載する。

種子消毒はどこで消毒したのかも記載する。  
(種苗会社等での種子消毒の場合は成分名で可)

作目、品種ごとに作成する。

総括表に所在地が記載してあれば、ほ場番号のみでも可。

農薬の名称は正確に記載すること。  
農薬登録の有無と使用回数を確認する。  
回数回使用するものは、使用回数がかかるよう記入する。

薬剤の使用希釈倍率を明記すること。

(又は〇〇)の標記は、極力行わないこととする。止むを得ない場合、団体申請のみ可とするが、化学窒素成分量、農薬成分量の多いほうで計算する。※個人申請の場合は不可。

収穫量について、10a当たり、総量どちらでも可。

上から時系列順に記載する。各作業ごとに行をそろえる。

作業と施肥・土づくり肥料、農薬の資材等が対応するよう記載すること。

栽培面積 合計 (a)	20	化学窒素成分量合計 削減割合	2.82 (kg) 5割 (6/42-2.82)/6.42	成分数合計 削減割合	9 5割 = (20-9)/20
----------------	----	-------------------	----------------------------------	---------------	---------------------

(注1) 前年実績については、作物ごとに栽培面積(a)と収穫量(kg)を記載する。  
 (注2) 同一のほ場に複数の作物を作付ける場合には、ほ場ごとにまとめて記載する。  
 とができるが、管理・収穫時期が異なる場合はそれぞれについて記載する。

(注3) 自署の場合は押印を省略してもよい。

削減割合は5割以上であること。  
(端数切り捨て)

削減割合は5割以上であること。  
(端数切り捨て)

(作業計画の作業名)

前作の収穫終了後から申請作物の収穫・調整作業終了までを記載する。

注1) 別のほ場で育苗する場合は、育苗計画も示す。

注2) 購入苗についても育苗計画が必要。

注3) 収穫が1日で終了しない場合は、収穫開始時期、収穫終了時期を明記する。

確認責任者プロフィール

氏名	〇〇〇〇																
住所	鳥取県〇〇郡〇〇町〇〇																
農業従事年数 <sup>(注1)</sup>	〇年																
耕種概要	平成〇〇年実績 水稻〇a、大豆〇a  <b>※農協の営農指導員の場合は記載不要。</b>																
特記事項 <sup>(注2)</sup>	<b>※申請者が申請している作物の確認能力があることを記載する。</b>  <b>※営農指導員等の確認者が複数名いる場合の記載例</b> 地区ごとに担当が確認 (その他確認者 営農指導員〇名)  <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>氏名</th> <th>担当地区</th> <th>営農指導経験</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>確認責任者</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇年</td> </tr> <tr> <td>確認者</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇年</td> </tr> <tr> <td>確認者</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>〇年</td> </tr> </tbody> </table>		氏名	担当地区	営農指導経験	確認責任者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年	確認者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年	確認者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年
	氏名	担当地区	営農指導経験														
確認責任者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年														
確認者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年														
確認者	〇〇〇〇	〇〇〇〇	〇年														

(注1) 確認責任者が農協職員等の場合は、営農指導経験年数等を記載する。

なお、申請者がグループ又は生産部等であり、かつ、栽培計画の内容を確認責任者以外の者と分担して確認する場合は、確認体制が把握可能な組織体制図を添付すること。

(注2) 申請作物の栽培経験年数、認定農業者としての認定有無及び営農指導経験等、申請者が行う作業が栽培計画から逸脱していないか適切に判断することが可能な旨を記載する。